

店舗別採算管理方法

Q. 店舗別の採算管理ができていない。店舗別採算管理の方法を教えてください。

要旨 店舗管理を「売上管理」「従業員管理」「在庫管理」「顧客管理」の四つの仕事に分け、「採算管理ができない理由」を取り上げ、改善策を探ることが重要です。

解説

1. 採算管理ができない理由

売上分析：売上分析の方法が非効率的だと、本当にやりたいことや得意分野を活かす前に、事務作業に不必要に多くの時間を費やすことになります。

従業員管理：就業規則やマニュアルが無いと指示系統の統一ができないばかりか、勤怠管理もままなりません。

在庫管理：帳簿の記入漏れや一元管理の不徹底による情報の散乱などが原因で、実際の在庫と帳簿のデータに誤差が生じると、在庫管理の意味が無くなり、過剰在庫をもたらす原因になります。

顧客管理：顧客データを購買傾向や趣味嗜好を把握するツールとして使用することをしなければリピーターを獲得することはできません。

上記のことが発生する原因は様々ありますが、業務の複雑化と高度化（IT化）、それに伴う人員削減と管理業務の増加が挙げられ、折角のIT化がかえって現場の負担を掛けさせていることはあまり知られていません。

在庫管理システムが存在し、24時間好きな時間、好きな場所で誰でも（ただし、パスワードを把握している者に限る）接続できるシステムのことです。

店舗管理がシステム化されていることで、売上管理、顧客管理、勤怠管理、在庫状況、各アイテムの出数（時間毎の出数も割り出し可）が把握でき、現場管理職は接客業務に集中できる環境を獲得でき、本部管理職は各店舗の状況をタイムリーに把握できタイムラグなくフォローすることが可能となります。

2. クラウド型のPOSシステムの導入

セキュリティが確保され、正確に店舗採算管理ができる方法がクラウド型POSシステムです。クラウド型POSシステムとはインターネット上に売上、顧客、勤怠、

効果的な店舗別採算管理方法

＜ご提案のポイント＞

- ・クラウド型 POS システムの導入で「いつでも、誰でも、どこでも」店舗の「売上、在庫、顧客、従業員」に関する情報を閲覧することが可能です。
- ・タイムリーな情報により店舗運営に関する施策に「ブレ」がなくなります。

1. 「クラウド型 POS システム」を導入する理由

店舗別採算管理ができていない大きな理由は、IT 化に伴う業務の複雑化と高度化に伴う人員削減と管理業務の増加が挙げられ、折角の IT 化がかえって現場の負担を掛けさせていることはあまり知られていません。

IT 化は大量の情報が取得できるようになりましたが、取得した情報の主査選択はあくまでも人間が実施しますので、前提となる知識、経験に頼らざる得なくなり、あまり効果が発揮できないケースや煩雑化した管理業務が原因で目の前のお客様をないがしろにするケースなど、本末転倒な結果になることもあります。

そこで、現段階で可能な限り IT がアシストしてくれるクラウド型 POS システムの導入をすることで、「売上、在庫、顧客、従業員」に関する欲しい最新の情報が手に入ることができます。最新の POS システムは AI 化がさらに進んでいますので各データを様々な角度から分析することができ、管理業務の大幅な削減が可能となります。

さらにクラウド型は自社でサーバーを設置しませんので、セキュリティ面でも安全であり、最新のバージョンにもアップデートしてくれます。

結果、サーバー管理費等のインシャルコストの削減も可能となります。

2. 「クラウド型 POS システム」の活用方法

「クラウド型 POS」システムはあくまでも管理・分析システムです。したがって、システムで得た情報をどう活かすかは現在のところ、人間が実施することとなります。

導入後よくある失敗は、システムの情報や分析結果を業務の改善に活かす仕組みを構築していないことです。

例えば、定例の会議の補足データとして「店舗別の売上アイテム数」、「時間毎売上」、「売上年齢層」を基に今後の対応策を発表させる等、POS データを活用する機会を構築することが必要不可欠です。

あくまでも POS システムは日頃の店舗管理を補助するシステムです。

導入した POS システムを活かす仕組みをどう構築するのか。ここが POS システムを使用した店舗別採算管理の肝となるでしょう。